

シリーズ 89 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



むぎぶえの会 会員一同 (明るく楽しくなごやかに)



代表者(藤村一人さん)より

私たちの主な活動は、今、手にとってお読みになっている「広報かさま」を、私たちの会が音読してカセットテープに録音し、希望される視覚障がいの方に郵送して聴いていただくことです。私たちはその内容をよく理解したうえで、聞いている方にもわかりやすく読むよう努力しています。また、物語や絵本とは異なる読み方が求められるため、聞きやすいよう工夫をしています。視覚を失った方の御苦労の中でも、文字が見えないために新聞、雑誌などの情報に触れることのできないもどかしさはさぞかしと思われま。身近に思い当たる方がおられましたら、私共のご利用をおすすめください。

また、小・中学生に対する読み方の指導を依頼されることもあり、実際に録音室を使って指導に当たっています。

視覚障がいの方にも情報を！

昭和55年6月、朗読勉強会として「録音奉仕の会」が発足しました。設立当時は朗読や民話、紙芝居などの活動をし、昭和58年には旧友部町のボランティアレポートを茨城放送で6回にわたり放送しました。

現在会員は女性6名、男性2名です。毎月第二水曜日に笠間市友部社会福祉会館の録音室に集まり、まず、音読箇所の分担を決めます。そして、各自練習してから順番にマイクの前に座ります。マイクのある部屋は防音構造になっていて、外部の雑音は入りません。

季節に合った美しい曲を添えて60分のテープに編集し(年に4回、市議会だよりのあるときは90分テープ)視覚障がいの方々に専用の郵便袋で送付します。聴き終わったら、宛名表示の紙を裏返して笠間市社会福祉協議会に送り返してもらっています。また、同じ内容のテープを友部図書館にも貸出用として、窓口に置いてあります。

〈お問い合わせ先〉
代表 藤村 一人
電話 0296-77-6172

音映ボランティア(友部地区)

録音奉仕 「むぎぶえの会」

代表者 / ふじむら 藤村 一人 かずひと
設立 / 昭和55年6月
会員 / 8人



録音前の打ち合わせ



録音装置



録音風景



茨城県社会福祉大会での表彰状